

滑川製造所 高断熱窓用「Low-E ガラス」生産棟を新設し操業開始

全国の Low-E ガラス生産能力を約 150%に拡大し、窓の高断熱化を推進

YKK AP 株式会社（本社：東京都千代田区、社長：魚津 彰）は、国内の主要製造拠点である滑川製造所（富山県滑川市）にて高断熱窓用「Low-E ガラス」を生産する新棟（N3B 棟）を建設し、11 月 27 日に操業を開始しましたのでお知らせします。滑川製造所での生産開始により、全国での Low-E ガラスの生産能力は、従来比約 150%になります。



高断熱窓用「Low-E ガラス」を生産する滑川製造所 N3B 棟

Low-E ガラスは Low-Emissivity（低放射）ガラスの意味で、ガラス表面に熱の伝わりを抑える特殊な金属膜をコーティングしています。一般的な板ガラスと比べて断熱性や遮熱性に優れ（※1）、住宅・ビルの快適さや人々の健康面、そして省エネルギー性に効果を発揮します。

YKK AP では断熱フレームと Low-E ガラスを使用した複層ガラスやトリプルガラスの組み合わせによる窓の高断熱化を進めており、Low-E ガラス比率（※2）は 90%を超えています。近年では新築時、および住宅・ビルのリフォームや改装時における開口部の高断熱化の需要も高まっています。そのため、Low-E ガラスの需要増加に対応する専用建屋を滑川製造所内に新設し、Low-E ガラス製造ライン（※3）を導入しました。新棟で生産した Low-E ガラスは隣接する建屋で複層ガラス、トリプルガラスに加工され、各組立ラインに運ばれて高性能窓「APW」シリーズなどの住宅用窓や、ビル用窓として敷地内で一貫生産されます。

今回の操業開始により、富山婦中工場（富山県富山市）での Low-E ガラスの製造は終了し、滑川製造所、埼玉窓工場（埼玉県久喜市）、北海道工場（北海道石狩市）の 3 拠点での生産となります。

YKK AP は Low-E ガラスの生産を強化し、樹脂窓など高断熱窓の普及に取り組むことで、健康で快適な暮らしと脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



Low-E ガラスイメージ
（複層ガラス 断熱タイプ）

【滑川製造所 N3B 棟概要】

建物名称	滑川製造所 N3B 棟
構造	鉄骨造（一部 2 階建）
延床面積	4,818 m ²
設備	薄膜コーティングライン（スパッタリングライン）
生産品目	Low-E ガラス
生産能力	300 万 m ² /年
設計・施工	鹿島建設株式会社
工期(※4)	2023 年 12 月～2025 年 6 月
投資額	35 億円（建屋・設備含む）

※1：参照 YKK AP ウェブサイト かしこいガラス選び「断熱するなら“魔法瓶そっくり？”のガラス」

https://www.ykkap.co.jp/consumer/satellite/products/articles/glass_select/lecture2/

※2：複層ガラス・トリプルガラスの出荷数量のうち、Low-E ガラスが含まれる割合。

※3：ガラス表面に金属膜をコーティングし、断熱性能等を高める処理をする製造ライン。

※4：建屋の工期。建屋完工後から 11 月までは設備導入期間。

＜ご参考＞ 滑川製造所 概要

滑川製造所は、超高層・高層ビル向けのカーテンウォールなど国内におけるビル製造の中枢を担っています。また、窓、インテリア商品などの住宅用商品、エクステリア商品、複層ガラス等、多様な商品を生産しています。これらの商品の供給についても、北信越地区を対象としたエリア供給拠点、日本全国を対象とした全国供給拠点としての位置付けを兼ね備えた機能を有しています。

所在地	富山県滑川市杉本 3003
敷地総面積	667,317m ²
建物総面積	延 212,017m ²
主な生産品目	住宅用窓、複層ガラス、サッシ、外装材、エクステリア建材 超高層・高層・中層・低層ビル用窓、ビル用ドア、カーテンウォール
操業	1992 年 4 月
従業員数	約 1,000 名
製造所長	野坂 直生